

# [学校教育]課 行政経営計画書（総括表）

## ■事務事業の総括

予算科目 款-項-目（事業）	事務事業名
10-01-01-(03)	教育委員会事業
10-01-02-(03)	学校教育管理事業
10-02-01-(03)	小学校運営事業
10-02-01-(04)	小学校施設管理事業
10-02-01-(05)	小学校整備事業
10-02-02-(03)	小学校教育振興事業
10-03-01-(03)	中学校運営事業
10-03-01-(04)	中学校施設管理事業
10-03-01-(05)	中学校整備事業
10-03-02-(03)	中学校教育振興事業
次世代育成事業特別会計	社本育英事業
次世代育成事業特別会計	こども未来応援事業

# 令和5年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-01-01-(03)
事業名	教育委員会事業		

## ■基礎情報

目的	教育委員会は合議制の執行機関であり、生涯学習、教育、文化、スポーツ等の幅広い施策を展開する。教育委員会制度の意義は、政治的中立性の確保、継続性、安定性の確保、地域住民の意向の反映である。
事務内容	教育委員会定例会の実施
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・法律により設置を義務付けられている教育委員会を運営する。</li><li>・教育委員会定例会では、部内各課所管事業の管理執行状況の報告を行うようにしている。</li><li>・教育委員が学校訪問や研究発表会などに参加し、校内や児童生徒、教職員の現状を把握するようにしている。</li><li>・新型コロナウイルス感染症により教育委員の視察ができていない状況である。今後は、感染状況等を見ながら本町事業等へ反映することができるような視察を計画していく。</li></ul>
令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・「生涯学習のまちづくり」という広い視点から教育委員会活動を考え、他部局との連携を図っていく。</li><li>・定例会において、部内各課所管事業の管理執行状況を適宜報告し、事務事業の進捗状況等を遅滞なく報告し、必要に応じ意見聴取していく。</li><li>・教育委員の意見交換、聴取または、委員との意見交換や協議ができるよう会議の内容について検討を行う。</li></ul>

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	教育委員と各部署との情報交換ができる機会を設ける。					
項目(単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	教育委員会の各部署で研修や視察等を検討する。
R7 年度	教育委員会の各部署で研修や視察等を検討する。

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4 ～ 3	教育委員会定例会 (毎月1回開催) 教育委員1名の任期満了に伴う準備 6月又は9月に 議会定例会へ人事案件を上程

**■目標又は改善策に対する取組内容**

**■評価**

# 令和5年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-01-02(03)
事業名	学校教育管理事業		

## ■基礎情報

目的	<p>学校、家庭、地域社会の連携のもと、開かれた学校づくりと授業改善を目指すとともに、教員の資質向上を図る。</p> <p>確かな学力の定着と豊かな心の育成、また、健康や体力などすべてにおいて調和のとれた子どもを育むとともに、子ども一人ひとりの個性を伸ばす教育を推進する。</p>		
事務内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適応指導教室</li> <li>・ 就学時健康診断</li> <li>・ 教職員等健康診断</li> <li>・ 学習活動支援（サポートルームさくら）</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ G I G Aスクールタブレット</li> <li>・ I C T支援業務</li> <li>・ 特別支援学校給食費補助</li> <li>・ 学校生活管理指導表作成助成</li> </ul> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適応指導教室</li> <li>・ 就学時健康診断</li> <li>・ 教職員等健康診断</li> <li>・ 学習活動支援（サポートルームさくら）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G I G Aスクールタブレット</li> <li>・ I C T支援業務</li> <li>・ 特別支援学校給食費補助</li> <li>・ 学校生活管理指導表作成助成</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適応指導教室</li> <li>・ 就学時健康診断</li> <li>・ 教職員等健康診断</li> <li>・ 学習活動支援（サポートルームさくら）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ G I G Aスクールタブレット</li> <li>・ I C T支援業務</li> <li>・ 特別支援学校給食費補助</li> <li>・ 学校生活管理指導表作成助成</li> </ul>		
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適応指導教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>適応指導教室事業の拡充のため、令和4年度より指導員を1名増員した。また、ふれあいの森管理棟2階を改修し、令和5年1月から場所を健康文化センターからふれあいの森へ移動し開設。</li> </ul> </li> <li>・ 学習活動支援（サポートルームさくら） <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止していたが、令和4年7月より再開し、中学生を対象に自ら学ぶことの大切さに気付く場所の提供をしている。</li> </ul> </li> <li>・ 学校タブレット、パソコン関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度にサーバー・校務パソコンのリプレイスに伴って校務パソコンと学習用パソコン(タブレット)のネットワーク分離がより強固なものとなった。情報漏洩など昨今のリスクに対応する形でハード面は対応することとなったが、情報リテラシーなど使用者(教員・児童・生徒)の意識を高めていくことが今後重要となる。</li> </ul> </li> <li>・ I C T支援業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度より引き続きI C T支援員を毎月各校7回程度設置を行い教員向けの支援を行った。支援の効果もあり、タブレット導入より2年を迎え、授業内での使い方などもある程度慣れてきていると考えられる。今後は支援員なしでも各自教員が意識的にタブレットを活用し授業の効率が上がるようにしていく必要がある。</li> </ul> </li> <li>・ 特別支援学校給食費補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>町立小中学校の学校給食費については、平成22年度より保護者が負担すべき給食費の半額負担を行っており、平成24年度から、障がいにより大口町立学校に就学していない児童のうち、県立特別支援学校に在籍する児童への就学奨励として、町立学校在籍児童と同様、当該県立特別支援学校給食費の2分の1（保護者が負担すべき額の2分の1）の負担を行っている。</li> </ul> </li> <li>・ 学校生活管理指導表作成助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度よりアレルギー、心・腎疾患、乳糖不耐症の児童生徒の保護者を対象に、学校生活管理指導表の作成に係る費用の助成を開始した。保護者の心理的、経済的負担の軽減を図ることを目的としている。</li> </ul> </li> </ul>		

令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適応指導教室関係  欠員となっていたスクールソーシャルワーカーが令和4年11月より配置され、令和5年4月からは正規職員として配置。適応指導教室の指導員、学校との連携を図りながら、学校生活への適応が困難で不登校及びその傾向にある児童生徒を支援していく。</li> <li>・ 学校タブレット、パソコン関係  整備の進んでいない学校プライバシーポリシーの整備を行い、情報に関する扱いの指針を定めていく。</li> <li>・ 副読本郷土読本改訂  令和5年度が副読本郷土読本「ふるさと大口」全改訂の年度となるため、年度初めより1年をかけて各学校担当者を集め時代に合った副読本になるよう改訂を進める。</li> </ul>
---------------	---

## ■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	子どもたちがのびのびと育っていると感じている町民の割合						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
70.2%	75.8%	72.0%	-	-	-	-	77.0%

## ■3年間の目標

目標	(この表は削除されています)						
	項目(単位)		R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標

## ■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	タブレット機器の更新を検討
R7 年度	タブレット機器の更新を検討

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	・教職員健康診断 ・プライバシーポリシー委託契約
6	・いじめ問題対策連絡協議会
7	・外部評価委員会
10	・教職員ストレスチェック ・通学路安全推進会議 ・就学時健康診断
	適応指導教室連絡協議会 ICT支援業務 学校連絡会議（毎月） 学校生活管理指導表助成申請交付事務（随時） 特別支援学校児童給食費補助金申請交付事務

## ■目標又は改善策に対する取組内容

--

## ■評価

--

# 令和5年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-02-01(03)
事業名	小学校運営事業		

## ■基礎情報

目的	学校・家庭・地域社会の連携のもと、開かれた学校づくりや授業力向上をめざした教員の資質向上を図り、学校教育の目的を達成するために、適切かつ効果的に教育事務を推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援員の配置</li> <li>・児童の健康診断</li> <li>・各種検査・テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞会</li> <li>・スクールバス運行</li> <li>・英語指導助手講師派遣</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援員の配置 個別事情を抱えた児童への配慮や円滑な学級運営に対応できるよう1年生の学級数+1名を配置している。平成31年度から医療的ケア児への対応として南小に看護師兼学校支援員を配置。令和4年度からは、南小以外の2校についても医療的ケア児への対応ができるよう看護師兼支援員を配置した。</li> <li>・各小学校において、特色を活かした活動を進めるとともに、学級を基盤とした児童の豊かな心を育む教育活動を進めている。</li> <li>・英語指導助手講師派遣 令和2年度から、新学習指導要領により英語が5、6年生は教科化、3年生からは外国語活動として必修化され、英語専科の教員配置が一部の小学校で始まった。外国語指導委託業務については、長年同一業者に委託しているため今後業者選定が課題である。</li> <li>・通信回線 令和3年度に通信回線強化工事(ローカルブレイクアウト)を行い、校務パソコン用通信回線とは分離したG I G Aスクールタブレット用の専用通信回線の敷設を行った。工事完了～令和4年度中は通信の遅延などは起こっていないが、今後技術の発達に伴い通信容量が大きくなるにつれて、遅延が起こってくることも予想されるため都度通信プランの見直しが必要となる。</li> </ul>		
令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校において、特色を活かした地域に根ざした学校づくりを行う。コロナにより自粛していた教育活動については再開していくことになるが、多忙化解消など現状の課題を踏まえ、実施方法を検討していく。</li> <li>・英語指導助手講師派遣については、業者選定について検討していく。</li> </ul>		

## ■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	子どもたちがのびのびと育っていると感じている町民の割合						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
70.2%	75.8%	72.0%	-	-	-	-	77.0%

## ■3年間の目標

目標						
	項目(単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標

## ■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	タブレット入れ替えの必要性の検討
R7 年度	タブレット入れ替えの必要性の検討

## ■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	経営案の作成
10	前期の評価・検証、後期へ向けての活動内容の確認 英語指導助手業者選定の検討
3	後期の評価・検証、次年度へ向けての課題、改善策の確認
	<p>【年間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級を基盤とした教育活動を実施し、その都度、問題点の把握と情報共有を図り、改善策を検討する。</li> <li>・児童一人ひとりに学習意欲を持たせ、主体的・対話的で深い学びの授業により基礎学力の向上を図ることで、自ら学ぶ姿勢を育む。</li> </ul>

**■目標又は改善策に対する取組内容**

--

**■評価**

--

# 令和5年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-02-01(04)
事業名	小学校施設管理事業		

## ■ 基礎情報

目的	児童が学習の場として一日の大半を過ごす学校施設を安全で安心な場所であるよう、学校施設の維持管理、整備を行う。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設の維持管理</li><li>・ 教具、その他の設備の修繕</li></ul>
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和2年度に作成した各学校施設の個別施設計画をもとに施設の長寿命化に向けた施設管理を行っていく。</li><li>・ 蛍光灯の生産が限られた業者になり、購入が難しい状況下であり、LED化されていない南小学校(校舎、屋内運動場)・北小学校(校舎、屋内運動場)についてはLED機器への更新が必要。</li></ul>
令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大口南小学校、大口北小学校については、計画している修繕を行いながら、施設の管理に努める。</li><li>・ 大口西小学校においては、小学校整備事業において、長寿命化改修工事の完了を予定している。</li></ul>

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	施設の維持管理、定期的な保守点検の実施					
	項 目 (単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	照明設備のLED機器への更新計画を検討
R7 年度	照明設備のLED機器への更新計画を検討

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作 業 内 容
4	年間契約となる各施設の保守点検契約
5	消防設備点検、運動遊具点検結果による修繕等 (必要な場合) 保健所プール施設検査及び水質検査による指導改善等
6	大口南小学校、北小学校 窒素酸化物濃度測定 1 回目
7	各学校予定箇所の修繕実施
8	消防設備点検、運動遊具点検結果による修繕等 (必要な場合)
11	大口南小学校、北小学校 窒素酸化物濃度測定 2 回目 (西小：対象冷温水機がないため不要)
	<p>【年間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕は、学校で要否判断のうえ起案した後、学校教育課で再判断してから執行する。</li> </ul>

**■目標又は改善策に対する取組内容**

**■評価**

# 令和5年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-02-01(05)
事業名	小学校整備事業		

## ■ 基礎情報

目的	児童が学習の場として一日の大半を過ごす学校施設を安全で安心な場所とするため、整備する。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校施設整備</li><li>・ 教具、その他施設整備</li></ul>
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 昭和51年(1976年)に開校した大口西小学校の学校施設は竣工から40年以上経過しており、壁や躯体など老朽化が著しくなっていることから令和4年度より長寿命化改修工事の施工を行っている。詳細設計に基づき、学校運営に支障が出ないよう監理業者と詳細を詰めつつ施工を進めている。</li></ul>
令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大口西小学校の長寿命化改修工事は完了予定だが、運動場・遊具等外構部分に係る箇所についても老朽化が進んでいるため施工検討を行う。</li></ul>

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果 指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	西小学校施設の長寿命化改修					
項目(単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	
西小学校の施設改修	タイヤ遊具撤去	校舎	校舎 体育館	運動場		

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	西小学校運動場、遊具等外構部分の施工検討
R7 年度	—

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4~ 9	・ 大口西小学校長寿命化改修工事

**■目標又は改善策に対する取組内容**

--

**■評価**

--

# 令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-02-02(03)
事業名	小学校教育振興事業		

## ■ 基礎情報

目的	<p>学校教育は、地方分権型社会への移行とそれに伴う規制緩和の中で、生涯学習の基礎を築く場としての使命を負っているが、本事業により、学校教育の充実に必要な教材、備品等を整備し教育の振興を図ることを目的とする。また、義務教育の円滑な実施と特別支援教育の振興に資することを目的とする。</p>
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副読本、教材、備品の購入</li> <li>・ クラブ活動への援助</li> <li>・ 児童の就学のための援助</li> </ul>
現在における経過又は課題	<p>副読本等の現物支給やクラブ活動に代表される、体育的・文化的活動への支援を実施し、経年劣化している備品を定期的に更新していく。</p> <p>経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者や特別支援学級に就学する保護者の経済的負担の軽減を図るため必要な援助を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 就学援助の援助費目：学用品費・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費（新入学準備金）、給食費、PTA会費、卒業アルバム代</li> <li>※学校給食費については、平成22年度より保護者が負担すべき給食費の半額負担を行っている。</li> <li>● 特別支援就学奨励費の援助費目：学用品費・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費、給食費</li> <li>● 収入急減者の援助費目：給食費、修学旅行費、卒業アルバム代</li> <li>※令和2年度より開始。援助費目を限定して支援。</li> </ul>
令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備品については、活動状況を見ながら適切に更新を行う。</li> <li>・ 経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者や特別支援学級に就学する保護者の経済的負担の軽減を図るため必要な援助を継続して行っていく。</li> </ul>

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	子どもたちがのびのびと育っていると感じている町民の割合						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
70.2%	75.8%	72.0%	-	-	-	-	77.0%

## ■ 3年間の目標

目標						
	項目(単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	老朽化した体育的文化的備品等の更新
R7 年度	老朽化した体育的文化的備品等の更新

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
	<p>【年間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要保護及び準要保護児童就学援助費申請事務</li> <li>・ 要保護及び準要保護児童就学援助費支払事務</li> <li>・ 特別支援教育就学奨励費申請事務</li> <li>・ 特別支援教育就学奨励費支払事務</li> </ul>

■ 目標又は改善策に対する取組内容

--

■ 評価

--

# 令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-03-01(03)
事業名	中学校運営事業		

## ■ 基礎情報

目的	学校・家庭・地域社会の連携のもと、開かれた学校づくりや授業改善をめざした教員の資質向上を図り、学校教育の目的を達成するために、適切かつ効果的に教育事務を推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の健康診断</li> <li>各種検査・テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術鑑賞会</li> <li>英語指導助手講師派遣</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設、設備等の教育環境や人的資源等の有効活用を一層研究し、生徒の意欲を喚起する学習指導の推進、道徳を重視した豊かな心の育成、地域に生きる者として、地域とともに歩む体制づくりに取り組む必要がある。</li> <li>【ブロック活動】 令和3年度より学年、学級に重点を置いた指導へ転換した。(行事等を中心に異学年交流であるブロック活動は継続)</li> <li>【教科センター方式】 教科エリア(教室、教科ラウンジ)の施設環境を整備し、教科の特性に合わせてスペースを有効活用している。(テスト前の学習会、英語クラブ、漢検・英検に向けての勉強の場等)</li> <li>英語指導助手講師派遣 外国語指導委託業務については、長年同一業者に委託しているので今後業者選定が課題である。</li> <li>通信回線 令和3年度に通信回線強化工事(ローカルブレイクアウト)を行い、校務パソコン用通信回線とは分離したGIGAスクールタブレット用の専用通信回線の敷設を行った。工事完了～令和4年度中は通信の遅延などは起こっていないが、今後技術の発達に伴い通信容量が大きくなるにつれて、遅延が起こってくることも予想されるため都度通信プランの見直しが必要となる。</li> </ul>		
令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナにより自粛していた教育活動については再開していくことになるが、多忙化解消など現状の課題を踏まえ、実施方法を検討していく。</li> <li>英語指導助手講師派遣については、業者選定について検討していく。</li> </ul>		

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	子どもたちがのびのびと育っていると感じている町民の割合						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
70.2%	75.8%	72.0%	-	-	-	-	77.0%

## ■ 3年間の目標

目標						
	項目(単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	タブレット入れ替えの必要性の検討
R7 年度	タブレット入れ替えの必要性の検討

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4	経営案の作成
10	前期の評価、後期へ向けての活動内容検討。 英語指導助手業者選定の検討
3	後期の評価、次年度へ向けての課題、改善策の検討。
	<p>【年間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動を基盤とした教育活動を実施し、その都度、問題点の把握と情報共有を図り、改善策を検討する。</li> <li>・生徒一人ひとりに学習意欲を持たせ、基礎学力の向上を図ることで、自ら学ぶ姿勢を育む。</li> </ul>

**■目標又は改善策に対する取組内容**

--

**■評価**

--

# 令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-03-01(04)
事業名	中学校施設管理事業		

## ■ 基礎情報

目的	生徒が学習の場として一日の大半を過ごす学校施設が安全で安心な場所であるよう、学校施設の維持管理、整備を行う。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校施設の維持管理 ga</li><li>・ 教具、その他設備の修繕</li></ul>
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 平成 20 年 4 月の開校以来 15 年が経過しているが、校舎及び設備の管理については、総合管理としているため、適切な時期に適切な業務を計画的に実施している。</li><li>・ 上記記載の通り竣工から 15 年が経過し、設備や備品の破損・不具合発生頻度が高くなってきている。また、それに加えて天災等を原因とする修繕や、定期的なメンテナンス工事（施設整備事業）が今まで以上に増加することが想定されるため、計画的な施行が必要となる。</li><li>・ 蛍光灯の生産が限られた業者になり、購入が難しい状況下であり、校舎・屋内運動場について LED 機器への更新が必要となる。</li><li>・ 屋内運動場について、昭和 49 年の建築より必要に応じて耐震補強・屋上防水などは行っているが設備の老朽化は進んでいるため大規模な改修が必要となる。</li></ul>
令和 5 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画している修繕を行いながら、施設の管理に努める。</li><li>・ プール雨水排水ポンプの不具合がみられるため、点検・修繕を行う。</li></ul>

## ■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果 指標	施設の維持管理、定期的な保守点検の実施						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■3年間の目標

目標						
	項 目（単位）	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標

## ■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	照明機器のLED機器への更新計画を検討（小学校と同様）
R7 年度	照明機器のLED機器への更新計画を検討（小学校と同様）

## ■作業工程（当該年度）

月	作 業 内 容
4	年間契約となる各施設設備の保守点検契約
5	消防設備点検、運動遊具点検結果による修繕等（必要な場合）
6	保健所プール施設検査及び水質検査による指導改善等
10	プール雨水排水ポンプ修繕
11	消防設備点検、運動遊具点検結果による修繕等（必要な場合）
	<p>【年間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕は、学校で要否判断のうえ起案した後、学校教育課で再判断してから執行する。</li> </ul>

**■ 目標又は改善策に対する取組内容**

--

**■ 評価**

--

# 令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-03-01 (05)
事業名	中学校整備事業		

## ■ 基礎情報

目的	生徒が学習の場として一日の大半を過ごす学校施設を安全で安心な場所とするため、整備する。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学校施設整備</li><li>・ 教具、その他施設整備</li></ul>
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和 4 年度中に屋内運動場東側の駐車場に新設の駐輪場建築を行った。自転車通学が必要となる生徒が増えたことによる対応であるが、今後も同様に建築当初には想定していなかった事象を起因とする施設の改修が想定されるため、都度施工を行っていく必要がある。</li><li>・ 中学校施設の特色である木製ルーバーが屋外であり、腐食、取り付け部のゆるみ等が起こることから、令和 4 年度に北面の塗り替え等メンテナンスを行った。今後腐食が進み取り付け部のゆるみが閉まらなくなるなど起こった場合メンテナンスができなくなる懸念もあることからルーバーの取り換え・代替材の検討が必要となる。</li><li>・ 屋内運動場について昭和 49 年の建築から 49 年が経ち、施設全体の老朽化が進んでいる。扉や消防用設備等必要最低限の部分は修繕にて対応している現状であるが、電気の LED 化を含めた施設全体の大規模改修が必要となる。</li></ul>
令和 5 年度の目標又は改善策	

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

## ■ 3年間の目標

目標	中学校施設の整備					
項目(単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	
施設整備	駐輪場設計	ルーバーメンテナ ンテナンス 駐輪場新築				

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	体育館老朽化による改修、建て替えの検討
R7 年度	体育館老朽化による改修、建て替えの検討

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容

**■目標又は改善策に対する取組内容**

--

**■評価**

--

# 令和5年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	10-03-02(03)
事業名	中学校教育振興事業		

## ■基礎情報

目的	<p>学校教育は、地方分権型社会への移行とそれに伴う規制緩和の中で、生涯学習の基礎を築く場としての使命を負っているが、本事業により、学校教育の充実に必要な教材、備品等を整備し教育の振興を図ることを目的とする。また、義務教育の円滑な実施と特別支援教育の振興に資することを目的とする。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本、教材の購入</li> <li>・クラブ活動への援助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の外部委託</li> <li>・生徒の就学のための援助</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<p>副読本等の現物支給やクラブ活動に代表される、体育的・文化的活動への支援を実施し、経年劣化している備品を定期的に更新していく。</p> <p>一部の部活動については、令和3年度よりウイル大口スポーツクラブに外部委託している。</p> <p>●種目：【R3】水泳、サッカー、バレー 【R4】水泳、サッカー、バレー、陸上、バスケット</p> <p>経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者や特別支援学級に就学する保護者の経済的負担の軽減を図るため必要な援助を実施する。また、令和2年度より開始した収入急減者を対象とする就学援助についても支援を行っていく。</p> <p>●就学援助の援助費目：学用品費・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費（新入学準備金）、給食費、PTA会費、生徒会費、卒業アルバム代 ※学校給食費については、平成22年度より保護者が負担すべき給食費の半額負担を行っている。</p> <p>●特別支援就学奨励費の援助費目：学用品費・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費、給食費</p> <p>●収入急減者の援助費目：給食費、修学旅行費、卒業アルバム代 ※令和2年度より開始。援助費目を限定して支援。</p>		
令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品については、活動状況を見ながら適切に更新を行う。</li> <li>・部活動の外部委託については、3年目となる。委託先のウイル大口スポーツクラブ、学校と調整しながら進めていく。</li> <li>・経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者や特別支援学級に就学する保護者の経済的負担の軽減を図るため必要な援助を継続して行っていく。</li> </ul>		

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	子どもたちがのびのびと育っていると感じている町民の割合						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
70.2%	75.8%	72.0%	-	-	-	-	77.0%

## ■ 3年間の目標

目標	(この表は斜線で消されています)					
	項目(単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	老朽化した体育的文化的備品等の更新
R7 年度	老朽化した体育的文化的備品等の更新

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
	<p>【年間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要保護及び準要保護生徒就学援助費申請事務</li> <li>・ 要保護及び準要保護生徒就学援助費支払事務</li> <li>・ 特別支援教育就学奨励費申請事務</li> <li>・ 特別支援教育就学奨励費支払事務</li> </ul>

**■目標又は改善策に対する取組内容**

--

**■評価**

--

# 令和 5 年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	1-1-1 (02)
事業名	社本育英事業		

## ■ 基礎情報

目的	<p>大口町名誉町民故社本鋭郎氏のご遺族からの寄付金で基金を設け、昭和57年より、町立中学校に在学し、高等学校等へ進学を希望する生徒の中から奨励金あるいは奨学金を交付する事で、生徒が将来、社会の一線で活躍されるよう支援する。また、児童生徒が校外活動を通して歴史・文化・芸術などに対して幅広い興味、見識を身につけ、様々な体験を重ね健やかな成長に寄与することを目的とする。</p>	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奨励金候補者の推薦依頼及び決定</li> <li>・ 奨学金の申請受付及び決定</li> <li>・ 奨励金、奨学金の交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史文化教育事業</li> <li>・ 校外活動への支援（計画変更、キャンセル分を含む。）</li> </ul>
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和58年度から令和4年度までの40年間で326名の奨学生が誕生し、それぞれ社会の一線で活躍している。</li> <li>・ 平成25年度から社本育英事業スポーツ大賞を創設し、故社本鋭郎氏のご意思、ご遺族の想いに応えられるようまた、地域スポーツの育成や発展を図った。</li> <li>・ 平成27年度に従来の施行規則を改正し、従来の奨学金を「奨励金」と名称を改めるとともに、経済的な理由により高校等への就学が困難な生徒を支援する制度として「奨学金」を創設した。</li> <li>・ 令和2年度に事業の見直しを行い、奨励金の金額を10万円から5万円に減額し、奨学金は、成績要件をなくし5万円1回のみ支給に変更した。</li> <li>・ 令和2年度より児童生徒を対象とする歴史文化教育を事業に追加し、小中学校の校外活動事業助成を開始し、松江市で中学校の修学旅行を実施。また、感染症対策などで延期、中止となる校外活動のキャンセル料の負担を行っている。</li> <li>・ 令和3年度より姉妹都市交流を担う次世代を育成し永続的な交流へ繋げるための松江サマースクール事業を計画。令和3年度は、新型コロナ感染症対策により事業が中止となったが、令和4年度は開催。</li> </ul>	
令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江市で計画されている中学校の校外活動の事業費に助成を行い、姉妹都市松江市との交流を通し歴史文化教育を推進する。</li> <li>・ 松江サマースクールにおいては、令和4年度実施できなかった松江市児童との交流を計画し、姉妹都市交流を進める。</li> </ul>	

## ■第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	子どもたちがのびのびと育っていると感じている町民の割合						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
70.2%	75.8%	72.0%	-	-	-	-	77.0%

## ■3年間の目標

目標	/					
	項目(単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標

## ■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	松江サマースクールは、3年目となることから実施時期、内容について検討する。
R7 年度	校外活動事業全般の課題の洗い出し

## ■作業工程 (当該年度)

月	作業内容
4~5	前年度、奨励金・奨学金決定者への支払い
5	校外活動事業の実施(中学校:松江市)
8	松江市サマースクールの実施
11	奨励金候補者の選定(中学校へ推薦依頼) 対象者へ奨学金申請の案内
2	理事会(奨励金候補者の決定) 奨励金、奨学金候補者へ案内

■ 目標又は改善策に対する取組内容

■ 評価

# 令和5年度 事業別行政経営計画書

所属名	生涯教育部 学校教育課	予算科目 款-項-目(事業)	1-1-1 (03)
事業名	こども未来応援事業		

## ■ 基礎情報

目的	町への寄付金と一般会計からの繰入金を財源とするこども未来応援事業において、子どもたちの成長段階に応じた支援を行うことで、人財を育成することを目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 私立高等学校等授業料補助金</li><li>・ 高等学校等通学費助成</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 奨学金返還支援</li><li>・ 次世代育成活動奨励事業</li></ul>
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和2年度まで一般会計において行ってきた私立高等学校等授業料補助、奨学金返還事業を令和3年度からこども未来応援事業において実施。</li><li>・ 令和2年度から、高等学校等通学費助成を開始。高等学校等へ定期券等を購入し通学する生徒の保護者の負担軽減を図ることを目的に通学費の一部を助成する制度。所得制限は設けず、年間6万円を超える場合に3万円を上限として助成。</li><li>・ 令和3年度から、次世代育成活動奨励事業を開始。個人、団体の自己研鑽を継続する活動や社会への寄与を目指し研究に取り組み活動を助成対象とし、活動内容等を広く周知する支援を行っていく。</li></ul>		
令和5年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 私立高等学校等授業料補助について、要綱を改正し、通信制高等学校を対象とする。</li><li>・ 高等学校等通学費助成については、助成開始から3年が経過し、助成額の上限額を見直すとともに、新たな就学支援制度を検討する。</li></ul>		

## ■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第1章	次代を担う子ども・若者の育成				
	基本政策	第2節	学びの基礎をつくる				
成果指標	子どもたちがのびのびと育っていると感じている町民の割合						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
70.2%	75.8%	72.0%	-	-	-	-	77.0%

## ■ 3年間の目標

目標						
	項目(単位)	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標

## ■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R6 年度	各支援策の検討、課題の洗い出し
R7 年度	各支援策の検討、課題の洗い出し

## ■ 作業工程 (当該年度)

月	作業内容
5	次世代育成活動奨励金事業申請
8	奨学金返還支援事業
10~11	私立高等学校等授業料補助 高等学校等通学費補助

**■目標又は改善策に対する取組内容**

--

**■評価**

--